

ベトナム輸出販路拡大推進協議会

■取組の背景

- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大によって、ベトナムでは資本力のある事業者が主たる販売先となり、輸出にはトレーサビリティへの対応が重視されるようになった。
- ▶ さらに、ベトナム向けの輸出では、漁獲情報を求められるようになるなど、衛生管理基準が大幅に引き上げられた。それに伴い、現地消費者の公衆衛生に対する意識が高まり、食品の販売方法も大きく変化しつつあり、その変化にというするための輸出体制・仕組みづくりが求められていた。

■取組の目的

- ▶ ベトナムを中心とした東南アジアマーケットへの国産水産物の販路開拓
- ▶ 現地ニーズに合った商品の開発・販売

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	具体的な取組内容
事業実施者	生産	有限会社結城水産	・輸出対象魚の生産
	加工流通	有限会社灘水	・輸出対象魚の輸送
	輸出	株式会社ふいついしゅいんてりあ	・輸出対象魚の加工、輸出、販売
	コンサルティング	株式会社JTB総合研究所	・事業全体のサポート

■取組内容

生産

◆蓄養水槽を活用した出荷体制

- ✓ 蓄養水槽における商品のストック▶ 輸出対象となりうる魚は、産地から活魚輸送によって運搬され、代表機関に整備されている蓄養水槽内でストックしておくことで、顧客からの注文を受けて、即加工・出荷が可能な体制を構築。

加工・流通

◆現地のニーズに合った商品開発

- ✓ 加工機器の導入▶ フィレマシン、3Dフリーザー、寿司個別包装製造機等の加工機器を導入し、**輸出先現地のニーズにあった製品を製造**
- ✓ 高鮮度製品の製造▶ 輸出対象魚は活魚の状態でもストックされており、注文を受けてから加工を行うため、**高鮮度な製品の製造が可能**

輸出

◆国産水産物の販路開拓

- ✓ 現地の衛生管理基準等に関する調査の実施▶ ベトナム現地で重要視されつつある衛生管理基準やその運用状況について調査を行い、**現地の状況に合わせた輸出体制を構築**。
- ✓ 現地の保管・物流状況に関する調査▶ 衛生管理基準等の厳格化により、現状のベトナムにおける**荷の保管・物流状況を把握するための調査**を行う
- ✓ 多言語ランディングページの作成▶ 海外ではWEBを通じた商品情報の公開、注文等が基本であることから、多言語に対応した商品ページを作成する
- ✓ プロモーションビデオの作成▶ 日本国内の産地から輸出先の消費者の手元に商品が届くまでのイメージをまとめた**プロモーションビデオを作成し、PRへ活用**する

現地ニーズに合った商品開発と販路開拓

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- ▶ 整備した加工機器を用いて、現地ニーズに合わせた製品を製造。随時新たな商品の試作を行っている。
- ▶ ベトナムからの引き合いは強く、輸出量は増加傾向。
- ▶ ベトナム現地において、代表機関主催のイベントを開催し、国産水産物のPRを行った。

★本取組によって得られたバリュー★

付加価値向上

原魚の活魚ストックによる製品の高鮮度化

商品開発

現地ニーズにあった加工製品の開発

販路開拓

海外顧客向けのPR媒体の構築